

日本真空学会 2014 年 8 月研究例会**主題 「センサ研究の展望」**

センサは、人間の五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）を代行するためその使用目的は多種多様であるが、大まかに分類すると、力、光、熱、電気等を検出対象とする物理系センサと、ガス、イオン、電位などを対象とする化学系センサの 2 グループとなり、今日、環境、エネルギー、バイオ、産業分野において益々その高度なモニタリングデバイスとして社会的・産業的重要性が高まってきております。そこで、今回、真空学会では従来なじみの薄かったセンサについてその研究の現状と今後の展開に関する知見を得るべく、センサ研究の第一人者の先生方からご講演いただくことで、センサ技術や課題、近未来に求められる新センサ技術、特にインテリジェントセンサをはじめガスセンサ他について情報獲得や議論の場を設け、今後のセンサの発展の方向性を見出す機会となることを期待しております。

日 時：2014 年 8 月 6 日（水） 10:30～16:00（受付 10:00～）

場 所：機械振興会館 地下 3 階 B3-1 会議室

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

電話 03-3431-4395 日本真空学会

講演プログラム

■ 開会の挨拶 （日本真空学会講演・研究会企画委員会、物質・材料研究機構）土佐 正弘 10:30～10:35

1. インテリジェントセンサ （物質・材料研究機構）羽田 肇 10:35～11:50

（昼休み）

2. 水晶振動子を用いたガスセンサ （産業技術総合研究所）鈴木 淳 13:10～14:00

（休憩）

3. 半導体式ガスセンサの開発と実用化例の紹介 （フィガロ技研(株)）井澤 邦之 14:10～15:00

4. 車載用半導体センサ ((株)デンソー) 鈴木 愛美 15:00～15:50

■ 閉会の挨拶 （日本真空学会講演・研究会企画委員会委員長、筑波大学）佐々木 正洋 15:50～16:00

参加費：日本真空学会会員、並びに協賛団体会員 2,500 円（予稿集代含む）

非会員 3,500 円（予稿集代含む）

学 生 無 料 （予稿集資料を希望する場合は 500 円）

申込方法：日本真空学会事務局へ事前に申し込んでください。余席が有る場合は当日も参加を受け付けます。
参加費は当日会場にてお支払いください。

申込・問合せ先：一般社団法人 日本真空学会 事務局

Tel: 03-3431-4395 Fax: 03-3433-5371

E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org URL: <http://www.vacuum-jp.org/>

本件担当：一般社団法人日本真空学会講演・研究会企画委員会 材料系研究例会 WG